



バス車中も楽しくすごします

炊飯器でご飯を炊いたことのない僕が、 炭火で、お鍋でご飯を炊きましたー



お昼ご飯は飲茶 美味しいと思う人 は〜い

9月7日と8日の1泊2日の日程で中学部1年が深圳へ宿泊研修に行きました。バスに揺られて約2時間。中国文化民俗村・錦繡中華では中国の歴史的な建造物のミニチュアを見てポイントウォークを楽しみ、お昼ご飯は飲茶。夜はいよいよ大梅沙のビーチへ。海岸のBBQ会場でのカレー作りが、一日目の活動の締めくくりです

「(冷凍された)お肉が溶けない!材料を一気に全部入れちゃった!」「ご飯のお水これくらい?」と方々から声が聞こえます。調理実習の時とは違うBBQ用のコンロにも苦戦。火を大きくするためにうちわで一瞬懸命あおぐ人やフーフーフと一瞬懸命息を吹きかける人。自分の班のカレーをおいしく作り上げるため、班員一人ひとりが「仕事」に熱中です。



中国文化民俗村・錦繡中華の一コマ
気分も高く飛び上がる

炊きあがったご飯の鍋蓋を早く開けてたまらないのか「もういいんじゃない?」「まだだよ!」のやりとりも。みんなでおいしいカレーを食べたい!という思いが、ぎこちなかった班員同士の潤滑油。カレーを口にした時には、みんなの顔に満面の笑み。カレーはあまり…という子も「みんなで作るとおいしい!」と箸をすすめていました。

2日目は、梧桐山へ登る予定でしたが、天候が不順だったため仙湖植物園へ変更。それでも友人たちと楽しい時間を過ごすことができました。たった1泊の研修ですが、生徒たちは、運営や企画のため夏休み前から打ち合わせを重ね本番に臨みました。そしてカレー作りの場面だけではなく、多くの箇所で行ったことによって自分の仕事を全うすることを学んだ生徒、友達を思いやることを学んだ生徒が多くいました。広州日本人学校中学部1年生の成長はまだまだこれからです。ご期待下さい。



中国の文化も興味深く学びます



帰校後に行われる発表会の資料集めを真剣に



大梅沙での野外炊飯 おいしいカレーに舌鼓